

6月24日「ボランティア実践」 第3回活動報告



●今回のボランティア実践ではATMティッシュ配りと潮小学校の見守りを行いました。私は銀行の前で主に高齢者の方を対象に配ったのですが、どの方も優しい方ばかりでした。「尼崎小田高校です」と声を掛けるとどの方も足を止めて最後までお話を聞いてくださりました。正直、始める前までは断られることばかりだろうなと思っていました。しかし、ティッシュを受け取っていただけた後に、「がんばってね」などの声をたくさんもらえたことにやりがいを感じました。地域の方は笑顔を浮かべている人ばかりで、「小田高。今はこんなことやっているの」などと驚きの声とともに褒めてもらうことができました。素直に嬉しかったです。ティッシュを配っていただけですが、今日は暑いから

気をつけてね。と心配してくださる声や小田高の卒業生です。などと会話が少し広がる場面もありました。このような小さいことから「顔の見える関係」をつくる第一歩になると気づきました。自分のマンションや近所の方とも更に交流を深め、「顔の見える関係づくり」を行っていきたいです。また、潮小学校の見守りでは保護者の方にお世話になりました。主に低学年の子たちを中心に挨拶をしたのですが、私たちのことを知らないにも関わらずどの子も大きな声で挨拶をしてくれました。高校3年生になった私の方が、小学生の子よりもはきはきとしゃべったり、挨拶ができていないと感じました。私も小学生の子を見習って、誰が聞いてもいいなと思ってもらえる挨拶をしたいです。



●今回は、長洲団地での清掃活動を行いました。前回は杭瀬小学校横の公園での清掃活動だったので今回も同じように長洲団地内での清掃を行うと思っていました。しかし、実際に行った内容としては、花壇の塀を崩したり、支柱を抜いたり、柵を取ったりしました。長洲団地での清掃活動としては、行う前に過去一大変な作業だと仰っていましたが、やはりしてみると大変な作業でした。そのような活動を行い、思ったことは長洲団地の方だけで行うことは難しいのではないかということです。私たち高校生であっても力的に無理な面や、長時間の活動は大変でした。そう考えると、定期的に私たち高校生が参加

することができればそのような場所の手入れを行えるだけではなく、地域とのつながりが増えるのではないかと思います。長年放置されていた花壇だったため、中々支柱が抜けなかったり、柵が土に埋もれて取れなかったりしましたが、班の人と協力しながら作業を進めたことで、すごく達成感を感じました。〇〇してほしいという指示をくださったため、私達は活動をスムーズに行うことができました。しかし、中々自分たちから声をかけて動くことは少なかったと思います。知識の方と会話をし、自分から積極的に動いていくことが前回の私には必要だったと思います。一学期の活動は最後でしたが、二学期に入ってから活動では、一学期の2回の清掃活動での反省を活かせるように活動していこうと感じました。

